

保存版特集「古事記」編纂1300年記念「古事記」入門

ikkōjin

4 APR. 2012
No.143
定価680円

個人

古事記 入門

「保存版特集」『古事記』編纂1300年記念



出雲、日向、熊野、伊勢

全国66カ所の記紀神話の舞台を歩く

作ったのは誰か？何をもとに編纂したのか？

「古事記」とは何か？

「古事記」編纂から8年後に完成した正史

「日本書紀」に書かれた天皇史の秘密

住居、髪型、服装、食生活は？

古代人の生活と出雲大社の

高層神殿を完全CG再現！



震災から一年、今こそ見つけ直したい

「お葬式」を通じて、 こころの「絆」を継承する

大切な命について、そして人と人との間わりについて、これまでにはほど深く考えた二年が過ぎた。
今こそ故人と親族、親しい人を結ぶ「絆」、絆をとおしてのお葬式のあり方を改めて考えたい。

震災から一年、 今「絆」を考える

東日本大震災が発生した二〇一一年、この忘れられない一年を表す漢字として選ばれたのが「絆」だった。

まさに命の危機のときこそ、まっさきに感じるのが家族、親戚との強い絆であり、親しい友人、地域での縁、仕事でのつながりだ。大切だと知りながらも、つい日常の多忙さへ置き忘れていた「絆」を改めて掌へ収め、温かさを知る。その特別な経験は、三月十一日から時間が過ぎてても、なお私たちの心に深く刻まれている。

そして命について、もっとも考える機会には、愛する人、親しい人が亡くなり、その死を悼むときに訪れる。見送りの場である「お葬式」というのは、故人と自分自身、家族、親しい人たちをつなぐ「絆」を象徴しているのである。

なぜ葬儀は大切なのか

近年、葬儀にはお盆も時間もかけたくないと考える人が増え、火葬のみという形も増えていたが、震災後は少しずつ、施主の意識に変化がでてきているという。経済産業省認可の葬儀団体で、全日本葬祭業協同組合連合会会長・松井昭恵さんは次のように語る。

「故人を偲び、手厚く弔いたいという方が増え、じくなつた方に敬意を払う心づかいがうかがえます。人間本来の姿、人としての本質の表れだと感じますね」

大切な人が亡くなって葬儀をとりおこなうとき、そこに集う人々は自然と深い縁でつながっている。その中で、よりよく弔うことは、よりよく生きることに直結するといっても過言ではない。

葬儀で見つめ直す大切な絆

価値の多様化が進んだ現代であっても、価値の「故人らしさ」を何らかの形で表現し、

最期のお見送りをする葬儀の意義は少しも変わらない。家族、親族、親しい友人、知人など、悲しみをともにする人たちが集まるからこそ、そこには特別な時間が流れている。故人との思い出を各人がしっかりと心に収め、けじめをつけ、互いに深い悲しみと喪失感をケアし、心を浄化することができるのだ。

故人とゆかりのある人に、できるだけ多く集まってもらい、故人が生きていた証を確認しあうことが礼を尽くすことにつながる。お葬式はじくなつた人の尊厳を社会的に承認すると同時に、今を生きる人と人との「絆」を継承するための大切な場であり、このようなお葬式を「絆葬」と言えるのではないだろうか。

今を生きるために大切なこと

命あるものは必ず終わりが来る。頭ではわかっていても、人は他者の死に直面して、はじめて、わが身に訪れる死の存在をかいま見ることが出来る。死を意識

すれば、それはすなわち今日を生きる自分自身を大切にすることにつながる。

一生のうちで喪主を務める機会には数少ない。しかし、いつやってくるかわからないその日に備えること、そして自分の死について考え、自身や家族のために、どんな葬儀を望むのか準備をしておくことは非常に大切な。そのためにも葬儀についての確な情報を持ち、業界団体に加わっている葬祭業者を選ぶことが、ますます重要になってきているのである。

お葬式のことが良くなる 「お葬式Q&A」プレゼント



ご希望の方は、ハガキまたはホームページ「プレゼントコーナー」からお申し込みください。
ホームページ <http://www.zonozon.or.jp/>
ハガキ 〒108-0075 東京都港区港南2-4-12 4F
全葬連「お葬式Q&Aプレゼント」係

安心・信頼できる葬祭業者を選ぶには



このマークの事業所は信頼できる葬儀社です。

全葬連は、葬祭サービスガイドラインを制定し、遵守しております。

全葬連は、経済産業大臣の認可を受ける日本最大の葬祭専門事業者団体です。全国に58協同組合、1,421事業者の全国ネットワークを持ち、消費者の皆様安心して葬祭サービスを受けて頂くための行動指針として、業界初となる「葬祭サービスガイドライン」を制定しました。全国の加盟葬儀社がこのガイドラインを遵守しておりますので、安心してご相談ください。

「よい葬儀社」を選ぶ基準は次の9点です。

- ① 相談者の話に熱心に耳を傾け理解しようとしているか。
- ② 相談者の身になって考えてくれているか。
- ③ 提供するサービスや商品についてわかりやすく説明しているか。
- ④ 葬儀について、ビジネスとしてだけでなく、きちんとした使命感をもっているか。
- ⑤ 料金についての説明が丁寧でわかりやすいか。
- ⑥ 厚生労働省認定葬祭ディレクター技能審査試験に合格した葬祭ディレクターがいるか。
- ⑦ 依頼した条件での見積りを作って、持ち帰ることができるか。
- ⑧ 「全葬連 葬祭サービスガイドライン 遵守事業者」であるか。
- ⑨ 近所にお店をもつ葬儀社であるか。

お葬式の「良い・悪い」の評価は料金の安さだけではありません。提供されるサービスの質の高さも併せて評価したいものです。

お気軽にお問い合わせください。



経済産業大臣認可 **全日本葬祭業協同組合連合会** (略称:全葬連)

〒108-0075 東京都港区港南2丁目4番12号 港南YKビル4階

くわしい情報はホームページで <http://www.zensoren.or.jp/>